

令和8年4月13日より、院内でのマスク着用は個人の判断となります。

これまで病院が実施してきた「ユニバーサルマスクング（常時着用）」を終了し、個人の判断を尊重する運用へと移行します。

ただし、感染拡大防止のため、症状がある場合や周囲への配慮が必要な特定の場面では、引き続きマスクの着用や「咳エチケット」へのご協力をお願いいたします。

マスク着用は「個人の判断」となります



院内でのマスク着用は個人の主体的な選択を尊重します

2026年4月13日より、一律のマスク着用を終了し「個人の判断」に委ねられます。



マスク着用は「個人の判断」となります

職員も基本的な感染対策に基づき、各自の判断で対応致します。

引き続きマスク着用をお願いする場面



咳・発熱・のどの痛みなどの症状がある方

周囲への感染を防ぐため、必ずマスクの着用や「咳エチケット」をお願いします。



面会時や、感染流行期に病院から指示があった場合

面会の方は着用を推奨します。また、流行状況により着用をお願いすることがあります。



ティッシュ・ハンカチで覆う

袖で覆う

マスクの着用

体調不良時の対応ガイド

状況	マスク着用の要否
症状がない場合	個人の判断にお任せします
咳・発熱・鼻水などの症状がある	着用をお願いします（必須）
面会（お見舞い）の方	着用を推奨します